



地盤沈下等水管理推進費

平成29年度予算（案）
16百万円（16百万円）

背景・目的

【背景】

- ・地下水を取り巻く環境の変化・多様化。
（地盤沈下の継続、水位回復と地下インフラへの影響、新たな需要）
- ・「水が国民共有の貴重な財産であり、公共性の高いもの」であり、
「流域として総合的かつ一体的な管理」が必要であるとする新たな考え方（水循環基本法）

【目的】地下水採取規制の最適化を通じた健全な水循環の確保

事業概要

- ・全国の地盤沈下観測結果と規制条例をとりまとめ、冊子やウェブサイトで公開。【事業内容①】
- ・現行の規制地域内において、経年データから地下水採取量と地盤沈下量の関係性を整理し、地下水採取規制のあり方を取りまとめる。
【事業内容②】
- ・規制地域外で地盤沈下が継続している地域を対象に、地下水採取量や地盤沈下量等の経年データを収集・整理する。【事業内容③】

事業スキーム

請負対象：民間団体等

期待される効果

【事業内容①】

- ・地方公共団体の地下水環境に対する意識の向上・情報共有。

【事業内容②】

- ・現行の規制地域内において、経年データから地下水採取量の目標値を評価し、地下水採取規制の適正化につなげる。
- ・地下水に関わるデータ管理のあり方を含めた地下水採取規制の将来ビジョンを取りまとめる。

【事業内容③】

- ・現行の規制対象外の地域・用途において、経年データから地下水採取量の目標値を評価し、今後の規制の適正化につなげる。

事業目的・概要等

地下水採取規制の4つの論点
（H27課題整理結果）

地下水の
利用状況の把握

規制用途の設定

<短期的課題>

<長期的課題>

許可基準の設定

許可地域の設定

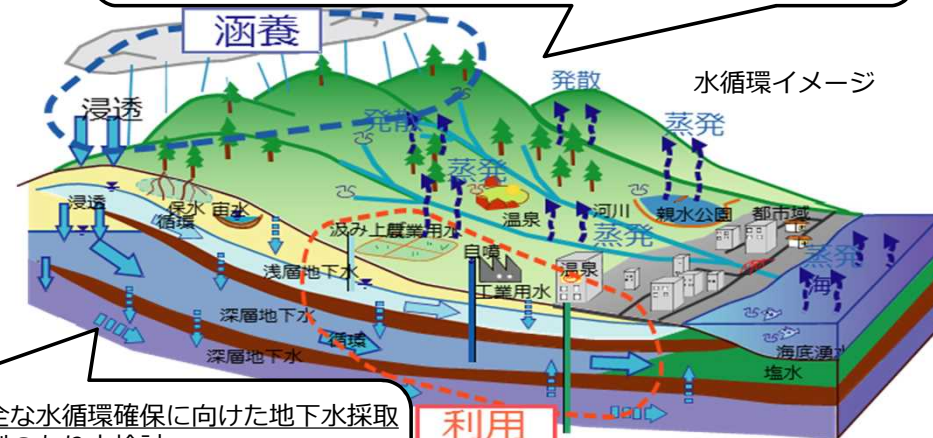
イメージ

定量的な判断基準
の必要性

H29新規

事業③ 規制対象外地域における地下水障害と利用に関する動向調査

現行の規制対象外地域において、経年データから地下水採取量の目標値を評価し、規制対象外の地域・用途を含めた規制の適正化につなげる



事業② 健全な水循環確保に向けた地下水採取規制のあり方検討

- ・規制地域における地下水採取量の目標値を評価
- ・地下水に関わるデータ管理のあり方を含めた地下水採取規制の将来ビジョン

地下水利用実態の評価

未規制地域・用途を含めた
適切な規制

定量的な判断基準に基づいた地下水採取規制の適正化

地下水マネジメントの推進・健全な水循環の確保